

健康すいた21（第3次）進捗確認シート(地域団体)

参考資料1

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度末までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
分野1 暮らしにとけこむ健康づくり													
83	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(1) 楽しみながら自然と健康になれるまちづくり イ 人とつながる場づくり	健康啓発イベントや講習会の場等での仲間づくり		○	○	健康まちづくり支援事業	ディオス北千里で開催されるマルシェ内で事業者・大学等と連携して健康啓発ブースを設け、買い物に来た人をターゲットに各種測定や相談を行っている。また、団体等から依頼を受け、身近な場所に出向きウォーキング測定・指導を行っている。	・ディオス北千里のマルシェで各種測定及び相談（5回） ・地域活動団体から依頼を受け、歩き方講習会等を開催（6回） ・地域交流研究会に参加（年6回）	・幅広く健康情報を発信するためには、他の団体や企業等の協力が必要となるが、確保が難しい ・他の地域でマルシェやイベントを開催している団体にアプローチをしながら活動の場を広げる	・健康無関心層 ・関心はあるが、正しい情報の入手や実践ができていない市民 ・重い内容ではなく気軽に立ち寄ってもらえる内容と雰囲気づくりを工夫する	吹田市健康づくり推進事業団
83	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(1) 楽しみながら自然と健康になれるまちづくり イ 人とつながる場づくり	いきいきサロンの開催（公民館や市民ホール等で情報交換や茶話会、軽体操やレクリエーションを通じた交流の場）			○	いきいきサロン	地区福祉委員会が取り組む「助けあい・支えあい」活動で、高齢者を対象にしたいきいきサロンで、軽体操やレクリエーションを通じて交流していただく。	549回 参加者：10,028名 福祉委員：3,475名	コロナ感染症が5類に移行し、制限が緩和され、コロナ禍前の状況まで今後は拡充していく見込み		吹田市社会福祉協議会
84	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組 ア 健康について知る・学ぶ機会の提供	事業者等と連携した健康啓発イベントの実施	○	○	○	地域連携協定（イオン）に基づく栄養相談	実際に販売されている食品やお弁当を展示し、栄養相談を実施	イオン北千里店（10月）、イオン吹田店（3月）にて実施 合計84名へ栄養相談	廃止	買い物に来られた方にお声かけし、日頃の食事の見直しとその改善点を具体的に示す	吹田地区栄養士会さんくらぶ
84	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組 ア 健康について知る・学ぶ機会の提供	事業者等と連携した健康啓発イベントの実施	○	○	○	みんなの健康展	市民参加型の啓発イベントとして、医療3団体をはじめとした参加団体による展示ブースや催し及び外部講師による講演会を、メイシアター等を会場として開催している。	・令和3年度は2年続けてのWeb開催として実施 ・令和4年度はメインの会場がワクチン会場に予定されたため縮小して開催 ・令和5年度は従来通り集客しての開催	・コロナ禍前と比較すると来場者が減っており、また来場者の多くが高齢者である ・就労世代にも興味を持ってもらえるよう、展示内容の工夫や企業の参画について検討していく	・健康無関心層（すべての年代） ・就労世代を呼び込むために開催している子ども向けの催しについては費用対効果も含めニーズに合った内容を検討する	吹田市健康づくり推進事業団
84	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組 ア 健康について知る・学ぶ機会の提供	事業者等と連携した健康啓発イベントの実施		○	○	レディース健康フェスティバル	女性特有の健康問題をテーマとした講演会と身体づくりの実践講座と合わせて、団体や大学、企業の協力のもと、気軽に立ち寄ってもらえる健康啓発ブースを設けて、女性の健康週間に合わせて開催している。	・令和3年度はJR吹田駅前、令和4年度は南千里駅前、令和5年度は江坂公園で開催 ・女性の健康に関する講演会、姿勢や歩き方等に関する実践講座を実施 ・各団体・大学・企業による測定・相談等健康啓発ブースの出展	・令和5年度で廃止 ・今後は「健康まちづくり支援事業」の中で地域事業者や各種団体、また大学等と連携しながら女性の健康課題も含めて健康情報の発信をしていく	・主に就労・子育て世代の女性 ・駅前や大規模公園等、日常生活において身近な場所で開催 ・協力団体、大学等にそれぞれのSNS等で発信してもらう ・賑わいを目的としてイベントを開催する団体や公園指定管理者と連携し楽しむ中で健康に触れる機会を提供する	吹田市健康づくり推進事業団
84	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組 ア 健康について知る・学ぶ機会の提供	事業者等と連携した健康啓発イベントの実施			○	イオン店舗における食生活事業	イオン店舗に買い物に来た人に対して、吹田地区栄養士会の管理栄養士から、栄養のバランスの取れた食事のアドバイスを行う事業を、イオン北千里店とイオン吹田店で実施している。	・イオン北千里店と吹田店で実施 ・「免疫力アップの食事」「バランスの取れた食事」「骨を強くする食事」をテーマに管理栄養士による相談	・令和5年度で廃止 ・今後は「健康まちづくり支援事業」等の中でそれぞれのターゲットに応じたアプローチの方法を管理栄養士とともに検討する	・健康無関心層 ・高齢者はじっくり話を聞く、子どもは遊び感覚で楽しみながら学びきっかけとする等、ターゲットに応じたアプローチの方法を管理栄養士とともに検討する	吹田市健康づくり推進事業団
84	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組 ア 健康について知る・学ぶ機会の提供	イベントを活用した健康相談	○	○	○	健康相談等（みんなの健康展）	吹田市健康づくり推進事業団及び吹田市主催の「みんなの健康展」において健康予防に関する講師を招き、講演を実施している。	令和5年9月9日、9月10日「みんなの健康展」開催。展示内容 血圧測定・脳年齢・反射神経測定を実施。済生会吹田病院 黒川先生より「骨粗しょう症のお話」の講演会を開催	令和6年9月7日、9月8日「みんなの健康展」開催。血圧測定・脳年齢・反射神経測定を実施。国立循環器病研究センターの吉原部長より「慢性腎臓病のお話」の講演会を開催	・ナッジ理論を用いた健康意識の取り組みを重点化としたい。今の若者世代をターゲットにSNSを介した啓蒙活動を広めたい。 ・今年は潜在患者さんが多い慢性腎臓病について市民に啓蒙していきたい。	吹田市医師会
84	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組 ア 健康について知る・学ぶ機会の提供	イベントを活用した健康相談	○	○	○	健康相談等（みんなの健康展）	吹田市健康づくり推進事業団及び吹田市主催の「みんなの健康展」において、歯科医師会ブースを設置し、歯ブラシ指導・フッ素塗布・口臭測定等を実施しています。また、個別の歯科相談も実施している。	令和5年度は675名の参加があった	継続	該当無し	吹田市歯科医師会
84	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組 ア 健康について知る・学ぶ機会の提供	イベントを活用した健康相談	○	○	○	健康相談等（みんなの健康展）	吹田市健康づくり推進事業団及び吹田市主催の「みんなの健康展」に参加し、お薬相談や健康相談を実施している。	「みんなの健康展」「レディス健康フェスティバル」でのお薬相談実施	健康チェックを行い、楽しみながら健康に目を向けて頂く機会を提供し、薬に対する正しい知識を深めて頂けるような企画をする。お薬相談、分包ゲーム。	—	吹田市薬剤師会
84	1 暮らしにとけこむ健康づくり	1 自分ができる健康づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康づくりを支える取組 イ 健康づくりを行うための場の提供	栄養、休養、運動等様々なテーマの講座、教室の実施		○	○	休養講演会	「質のよい眠り」や「笑いの効用」等、心の健康につながる講演会を開催している。	・令和3年度は笑いの効用、令和4年度は積極的なリハビリについて講演会開催 ・令和5年度は大阪大学・江坂公園指定管理者と連携して子育てに関する内容を対談形式で開催	・令和5年度で廃止 ・今後は「健康まちづくり支援事業」の中で実施していく ・講師の話聞くだけでなく、自らも参画しながら心身の健康について専門家のアドバイスをもらいながら一緒に考える機会とする	・特に就労・子育て世代 ・公園等日常の活動の場所で、気軽に参加できる形式・内容を工夫をする ・広報については市報・ホームページだけでなく、会場となる場所に出向いて直接アプローチする	吹田市健康づくり推進事業団

健康すいた21（第3次）進捗確認シート(地域団体)

参考資料1

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度末までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
84	1 暮らしに とけこむ健康 づくり	1 自分ができる健康 づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康 づくりを支える取組 イ 健康づくりを行うための 場の提供	栄養、休養、運動等様々な テーマの講座、教室の実施		○	○	ロコモ予防教室	ロコモティブシンドロームを予防するために必要な運動の実 践指導と食事のポイントの講義を含めた教室を年1回（2日 間）実施している。	・令和3年度は、運動・栄養の講座と 歩き方の実践指導 ・令和4年度は、運動・栄養の講座と 歩き方測定及び実践指導 ・令和5年度は運動の講座、その後毎 月公園等で実践指導	・特に女性は筋力の衰えや関節等の機能 低下で介護状態になる率が高いので、継 続して取り組んでいく	・自分で取り組むのが困難な高齢者 ・大規模公園等で、事前申込なしで誰 でも気軽に参加できる事業として継続 して開催する	吹田市健康づくり推進事 業団
84	1 暮らしに とけこむ健康 づくり	1 自分ができる健康 づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康 づくりを支える取組 イ 健康づくりを行うための 場の提供	栄養、休養、運動等様々な テーマの講座、教室の実施		○	○	歩く達人講習会	測定により普段の自分の歩き方を再認識してもらったうえ で、足腰に負担のない歩き方や、歩くために必要な筋力・柔 軟性・バランス力のトレーニングについて学んでもらい、い つまでも自分の足で歩き続けることができる体づくりを目的 に実施している。	実施せず			吹田市健康づくり推進事 業団
84	1 暮らしに とけこむ健康 づくり	1 自分ができる健康 づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康 づくりを支える取組 イ 健康づくりを行うための 場の提供	健都サポーター制度を活用し た実証事業に係るコーデ ィネット		○	○	健都サポーター制度に おけるコーディネート	健都サポーター制度を活用した実証事業において、企業・研 究機関・市民等をコーディネートするとともに、会員情報の 収集及び健康情報の発信を行う。	・令和4年度で廃止 ・実証事業に関する支援 ・健都ヘルスサポーターの運用等 ・健都ヘルスサポーター獲得のため の周知及び健康関連イベントの実施 等			吹田市健康づくり推進事 業団
84	1 暮らしに とけこむ健康 づくり	1 自分ができる健康 づくりに取り組む	(2) 市民の主体的な健康 づくりを支える取組 ウ 健康づくりをサポート する人材の育成	地域における生涯スポーツ推 進のための人材育成				社会体育リーダー養成 講座	文化スポーツ推進室が主催の「社会体育リーダー養成講座」 の受講者による、地域における生涯スポーツを推進するため に実践的指導、助言及び運営等に当たる中心的な存在で、地 区活動を実施しています。	社会体育リーダーの資質の向上のため に、ユースポーツ、モック、ルディW、 A、タリ、ホッチ等の事後研修を年間12 回を計画実施。 87回の7回研修を実施。 第50期社会体育リーダー養成講座を 開催、21名の受講生、17名の認定 者が加わった。	継続 指導者の高齢化問題をどうするか		吹田市体育振興連絡協議 会



健康すいた21（第3次）進捗確認シート(地域団体)

参考資料1

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度末までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名	
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代							
<b>分野2 食べる</b>														
92	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ア 次世代	生活習慣病予防検診後の保護者、子供に対する集団栄養指導	○	○		子供(小5・中2)の生活習慣病予防検診後の集団栄養指導	SATシステムを使って、エネルギーや栄養バランスを理解してもらうため、保護者、子供に分かれ講話、グループワークを行います。	年1回(10月)、親4名、子3名の参加	インフルエンザの影響で欠席も多く、参加人数が少なかった今年度も継続	対象は小5、中2の親子のみ。グループワーク(親)では他の親の悩みに同感したり、安心できるような場面作りを意識した運営を心がけている	吹田地区栄養士会さんくらぶ
92	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ア 次世代	小・中学生の保護者への栄養に関する講話や料理教室等		○		家庭教育学級への料理教室	小学生を持つ保護者対象に、食に関する知識向上のため、料理技術・情報の提供を行います。	依頼がなく実施なし	廃止	毎年テーマを決めて、取り組みやすい形で提案	吹田地区栄養士会さんくらぶ
92	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ア 次世代	小・中学生の保護者への栄養に関する講話や料理教室等		○		小学校給食試食会 中学校給食試食会	子どもたちが食べている給食と同じものを試食します。栄養士を講師に招き、食に関する指導を受けます。	小学校給食試食会 中学校給食試食会	子どもたちが食べている給食と同じものを試食します。栄養士を講師に招き、食に関する指導を受けます。	該当なし	吹田市PTA協議会
92	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃からの)の行動を後押しする支援	イベントや商業施設等での食の情報発信や栄養相談、食事相談		○	○	食事指導	各薬局で、糖尿病・高血圧・痛風・便秘等の患者さんへ食事指導を行います。	—	—	—	吹田市薬剤師会
92	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃からの)の行動を後押しする支援	イベントや商業施設等での食の情報発信や栄養相談、食事相談		○	○	イオン店舗における食の応援事業	イオン店舗に買い物に来た人に対して、吹田地区栄養士会の管理栄養士から、栄養のバランスの取れた食事のアドバイスを行う事業を、イオン北千里店とイオン吹田店で実施している。	・イオン北千里店と吹田店で実施 ・「免疫力アップの食事」「バランスの取れた食事」「骨を強くする食事」をテーマに管理栄養士による相談	・令和5年度で廃止 ・今後は「健康まちづくり支援事業」等の中でそれぞれのターゲットに応じたアプローチの方法を管理栄養士とともに検討する	・健康無関心層 ・高齢者はじっくり話を聞く、子どもは遊び感覚で楽しみながら学ぶきっかけとする等、ターゲットに応じたアプローチの方法を管理栄養士とともに検討する	吹田市健康づくり推進事業団
92	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃からの)の行動を後押しする支援	イベントや商業施設等での食の情報発信や栄養相談、食事相談	○	○		チャレンジDAY	楽しく体を動かす中でも健康について学んでもらうことを目的に、食育ブースを設置し、食育SATシステムを使って日常生活の食事についてのアドバイスを行っている。	・多くの団体の協力により、各種スポーツ体験、食育、健康ミニ講座、体力測定、健都からの発信、がん健診や受動喫煙防止の啓発等を実施 ・令和3年度からは各団体に企画から運営まで担ってもらっている	・参加者が多く、各団体のスタッフだけでは運営が厳しいため、多くの大学生・高校生ボランティアが協力してくれている ・健康啓発ブースを増やすためには企業や専門家の協力を得る必要がある	・時間がなく健康づくりに取り組めていない就労世代 ・近隣の保育園・幼稚園・小学校にチラシ配布やポスター掲示を依頼している ・ターゲットが就労世代なので吹田市のSNS等を活用している	吹田市健康づくり推進事業団
92	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃からの)の行動を後押しする支援	イベントや商業施設等での食の情報発信や栄養相談、食事相談		○		「みんなの健康展」参加	「食」に関する情報提供や栄養相談を行います。	SATシステムを用いた栄養相談	継続	種々のライフステージに合わせた重要課題や関心のある内容とし、参加しやすく分かりやすい媒体を使用	吹田地区栄養士会さんくらぶ
92	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃からの)の行動を後押しする支援	男性向け料理教室		○		だんしゃく(男性料理教室)	食に関する知識の向上のため、希望に応じた料理技術・情報の提供を行います。	月1回、デュオで実施	継続	年に一度、市報に募集要項掲載(さんくらぶからではなく、だんしゃくクラブからの募集)	吹田地区栄養士会さんくらぶ
93	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	低栄養予防のための食の講話、個別栄養相談		○		今こそ! 栄養教室	介護予防、吹田市民はつらつ元気大作戦の中の教室。健康寿命の延伸やフレイル予防についての講話、食事バランスチェック等を行います。	年7回実施 合計73名受講	継続	募集等は高齢福祉室。2回継続の講座で、自分の食事の課題を解決できるよう支援	吹田地区栄養士会さんくらぶ
93	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	低栄養予防のための食の講話、個別栄養相談		○		吹田市フレイル予防栄養相談	吹田市フレイル等予防栄養相談業務として訪問栄養指導を実施	合計21名、71件	継続	面談→電話相談→面談の3回が1セットで、対象者に寄り添った栄養相談を心がけている	吹田地区栄養士会さんくらぶ
93	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	ひとり暮らしの高齢者への配食や外出配食、食事会等		○		配食サービス	一人暮らし高齢者等に対し安否確認を兼ねて福祉委員が弁当を個別に配食します。	配食サービス30回のべ928名に実施	今後も継続して取り組んでいく。		吹田市社会福祉協議会
93	2	食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 エ 高齢世代の低栄養予防	ひとり暮らしの高齢者への配食や外出配食、食事会等		○		ふれあい屋食会 ふれあい外出配食	一人暮らし高齢者が一緒に会食することで、閉じこもりの防止や活力の回復等をめざします。コロナ禍では、集って会食することが難しく、公民館等の地域活動拠点で、お弁当をお渡しする「ふれあい外出配食」で短時間での交流と外出の機会の確保も兼ねて、取り組んでいます。	228回 参加者：11,748名 福祉委員：2,632名	コロナ感染症が5類に移行し、制限が緩和され、コロナ禍前の状況まで今後は拡充していく見込み	吹田市社会福祉協議会	

健康すいた21（第3次）進捗確認シート(地域団体)

参考資料1

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度末までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
93	2 食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 オ 全世代に共通する食育の取組	イベント等での食事診断システムを活用した栄養相談	○	○	○	食育SATシステムの貸出	食に関するイベントや栄養士会等が実施する催しにSATシステムを貸し出し、栄養バランスの指導や食事診断を行うことにより食生活を見直してもらいます。	小学校、教育委員会に貸出	小学校、教育委員会に貸出	該当なし	吹田市健康づくり推進事業団
93	2 食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 オ 全世代に共通する食育の取組	イベント等での食事診断システムを活用した栄養相談	○	○	○	みんなの健康展、チャレンジDAY	SATシステムを使用。「食」に関する情報提供や栄養相談を行います。	SATシステムを用いた栄養相談	継続	種々のライフステージに合わせた重要課題や、関心のある内容を分かりやすい媒体を使用して提案	吹田地区栄養士会さんくらぶ
93	2 食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 オ 全世代に共通する食育の取組	簡単に作れる栄養バランスのよいメニューの提供	○	○	○	健康すいたにレシピ掲載	簡単に作れる、栄養バランスの良いメニューを掲載	健康すいた8月号にレシピ掲載	継続	簡単に作れて栄養価の高いメニューの提案と、テーマとする栄養素のはたらきについて解説	吹田地区栄養士会さんくらぶ
93	2 食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 オ 全世代に共通する食育の取組	簡単に作れる栄養バランスのよいメニューの提供		○	○	はつらつ元気レシピ集	テーマに基づく、簡単に作れる栄養バランスの良いメニュー提供。	レシピ集の続き、「噛む力を鍛える」「骨粗鬆症予防」の6品のレシピを追加提供	継続	障害があっても、また、食事作りの意欲が薄れている高齢者にとっても簡単に作れて栄養価の高いメニューの掲載	吹田地区栄養士会さんくらぶ
93	2 食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から)の行動を後押しする支援	簡単に作れる栄養バランスのよいメニューの提供	○	○		父と子の料理教室	父と子が楽しく料理に触れ、家庭での父親の料理参加を促す取り組み	年1回 8組	継続	役割を分担し、父と子の楽しいコミュニケーションの場とする市報により募集	吹田地区栄養士会さんくらぶ
93	2 食べる	1 おいしく楽しく、バランスよく食べる	(1) ライフステージに応じた食育の取組 ウ 就労世代(30歳頃から)の行動を後押しする支援	主婦向けの料理教室		○	○	淀川生協料理教室	料理に興味をもつ主婦への料理提案	主婦層を対象に料理教室を実施 年に6回(奇数月)	継続	季節感のあるメニューを提案し、健康づくりに貢献する	吹田地区栄養士会さんくらぶ
96	2 食べる	2 食べることを大切にする意識を持つ	(1) 食べることを大切にする意識を育てる	子供向けの料理教室	○			きらきらキッズクラブ	見て、さわって、楽しく料理をしながら「食べもの」のことを自分で考えて、自分で選び、作ることができる「食の自立」を目指します。	年10回(2か月ごとに参加者募集) 合計66名参加	継続	旬の食材を用いたり、直接触れたりできることで、子どもが興味を持ち楽しんで参加できる工夫	吹田地区栄養士会さんくらぶ



健康すいた21（第3次）進捗確認シート(地域団体)

参考資料1

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度末までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
<b>分野3 動く・出かける</b>													
102	3 動く・出かける	1 日常生活で体を動かす	(1) 日常生活で体を動かすことの大切さについての啓発	イベント等の場を活用して、体組成測定や体力測定を実施し、BMIや筋肉量を可視化することにより、ロコモティブシンドローム予防等運動の必要性等を周知啓発		○	○	体組成測定 (みんなの健康展)	BMI、筋肉量の測定により、ロコモティブシンドローム予防への意識付けを行います。	「みんなの健康展」での測定は中止。「レディース健康フェスティバル」において骨密度・肌年齢測定を行った。	肌年齢・糖化度測定を行う。	気軽に健康チェックを行い、その結果を詳しく解説したり、生活状況を向うことで自身の健康に関心を持っていただく。	吹田市薬剤師会
103	3 動く・出かける	1 日常生活で体を動かす	(3) 出かけたくなる魅力あふれる場の創出	趣味や社会活動、地域のスポーツ行事等社会参加の機会の提供	○	○	○	地域スポーツ促進事業	地域スポーツの推進を図るため、吹田市民を対象にニュースポーツをはじめとした各種スポーツ行事を開催し、市民の健康の増進を図るとともに明るいまちの形成を目指します。	吹田市体育振興協議会の33地区で地域スポーツ促進事業として、各地区7人制フットサル（延べ231）を開催実施した。例えば【佐井寺地区】では・グラウンドゴルフの集い（6月）・ボドミツの集い（7月）・ウォーキングトライ（Mマガ）青少年対策委員会と共催（12月）他3行事開催。延べ、180名の参加者がいた。	継続 各地区、PR不足の解消。 吹田市のホームページに地域スポーツ（地区行事として）行事を掲載している。	令和5年度「運動・スポーツ未実施者層へのアプローチ」と題して講演会を開催した。（小間奈津子）	吹田市体育振興連絡協議会
103	3 動く・出かける	1 日常生活で体を動かす	(3) 出かけたくなる魅力あふれる場の創出	趣味や社会活動、地域のスポーツ行事等社会参加の機会の提供	○	○	○	てくてくウォーク&ノルディック	万博公園自然文化園等において、日常生活にも気軽に取り入れることができるウォーキングやノルディックを、楽しめる工夫を凝らしながら開催している。	・地域スポーツ指導者等がスタッフとして安全管理及び指導を担い、吹田のまちなかをウォーキング又はノルディックで歩く	・令和5年度で廃止 ・歩くことの大切さ等については、イベントではなくロコモ予防教室やウォーキング会員事業で取り組んでいく		吹田市健康づくり推進事業団
104	3 動く・出かける	2 自分でできる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1) ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ就労世代：生涯にわたる健康的な体をつくるための基礎づくり	親子を対象に楽しく体を動かしながら健康への意識を高められるようなイベント等の実施	○	○	○	チャレンジDAY	千里北公園において、親子をターゲットとして、実行委員会・参画団体以外にも、企業・事業者・大学・高校等の協力を得て、楽しく体を動かしながら健康への意識を高めてもらうイベントを開催している。	・多くの団体の協力により、各種スポーツ体験、食育、健康ミニ講座、体力測定、健都からの発信、がん健診や受動喫煙防止の啓発等を実施 ・令和3年度からは各団体に企画から運営まで担ってもらっている	・参加者が多く、各団体のスタッフだけでは運営が厳しいため、多くの大学生・高校生ボランティアが協力してくれている ・健康啓発ブースを増やすためには企業や専門家の協力を得る必要がある	・時間がなく健康づくりに取り組めていない就労世代 ・近隣の保育園・幼稚園・小学校にチラシ配布やポスター掲示を依頼している ・ターゲットが就労世代なので吹田市のSNS等も活用する	吹田市健康づくり推進事業団
105	3 動く・出かける	2 自分でできる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1) ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ就労世代：運動不足解消や生活習慣病・フレイル予防	専門家の指導・アドバイスによるランニングやストレッチ、筋力トレーニングの方法を学べる場・機会の提供		○	○	ヘルストレーニング教室	専門家の指導・助言により、自分に合った正しい運動方法を学んでもらい、日常生活の中で運動を習慣化し健康づくりに取り組んでもらうことを目的として実施している（パーペル・鉄アレイ等による筋力強化、ランニング、柔軟体操等）	新型コロナウイルス感染拡大による制限が解けた後も、十分な感染対策を行いながら再開した。	・高齢の参加者が多いため、感染拡大防止及び体調管理、また緊急時の対応について指導員と情報を共有し、共通の認識を持って対応する	該当なし	吹田市健康づくり推進事業団
105	3 動く・出かける	2 自分でできる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1) ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ就労世代：運動不足解消や生活習慣病・フレイル予防	専門家の指導・アドバイスによるランニングやストレッチ、筋力トレーニングの方法を学べる場・機会の提供		○	○	レディースヘルストレーニング教室	専門家の指導・助言により、自分に合った正しい運動方法を学んでもらい、日常生活の中で運動を習慣化し健康づくりに取り組んでもらうことを目的として実施している（パーペル・鉄アレイ等による筋力強化、ランニング、柔軟体操等）	新型コロナウイルス感染拡大による制限が解けた後も、十分な感染対策を行いながら再開した。	・高齢の参加者が多いため、感染拡大防止に加えて体調管理、緊急時の対応について指導員と情報を共有し、共通の認識を持って対応する	該当なし	吹田市健康づくり推進事業団
105	3 動く・出かける	2 自分でできる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1) ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ就労世代：運動不足解消や生活習慣病・フレイル予防	専門家の指導・アドバイスによるランニングやストレッチ、筋力トレーニングの方法を学べる場・機会の提供		○	○	シェイプアップ体操教室	指導者のリードで、リズムに合わせて楽しく体を動かすことで、ストレスを分散するとともに、日常生活の中で運動を習慣化し健康づくりに取り組んでもらうことを目的として実施している。	新型コロナウイルス感染拡大による制限が解けた後も、十分な感染対策を行いながら再開した。	・高齢の参加者が多いため、感染拡大防止に加えて体調管理、緊急時の対応について指導員と情報を共有し、共通の認識を持って対応する	該当なし	吹田市健康づくり推進事業団
105	3 動く・出かける	2 自分でできる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1) ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 イ就労世代：運動不足解消や生活習慣病・フレイル予防	専門家の指導・アドバイスによるランニングやストレッチ、筋力トレーニングの方法を学べる場・機会の提供		○	○	ヘルシーウォーキング教室	専門家の指導・アドバイスにより、無理のない正しい歩き方と筋力トレーニングの方法を学んでもらい、日常生活の中で積極的に歩くことを意識して健康づくりに取り組んでもらうことを目的として実施している。	新型コロナウイルス感染拡大による制限が解けた後も、十分な感染対策を行いながら再開した。	・高齢の参加者が多いため、感染拡大防止に加えて体調管理、緊急時の対応について指導員と情報を共有し、共通の認識を持って対応する	該当なし	吹田市健康づくり推進事業団
105	3 動く・出かける	2 自分でできる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1) ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代：フレイル予防や認知症予防等の介護予防	高齢者の集まる場で、いきいき百歳体操等軽い体操を実施			○	いきいきサロン等	地区福祉委員会が取り組む高齢者対象のいきいきサロン等で、軽い体操やいきいき百歳体操を実施することで、健康づくりに役立っている。	いきいきサロンに加えて、いきいき百歳体操や軽体操等の実施 333回 参加者：10,268名 福祉委員：1,976名	コロナ感染症が5類に移行し、制限が緩和され、コロナ禍前の状況まで今後は拡充していく見込み	一部の地区において、みまもりあいアプリ等を活用したイベントの実施	吹田市社会福祉協議会
105	3 動く・出かける	2 自分でできる運動を見つけ、楽しみながら継続する	(1) ライフステージに応じた運動習慣形成に向けた取組 ウ 高齢世代：フレイル予防や認知症予防等の介護予防	足腰に負担のない歩き方や筋力トレーニング等を指導し、いつまでも歩き続けることができる体づくりをサポート		○	○	ウォーキング会員募集	自分の目標を定めて、足腰に負担のないウォーキングに加え、筋力トレーニング、ストレッチ等を実践し、ウォーキングを生活の一部として取り入れ、いつまでも歩き続けることができる体づくりを目指す方を会員として登録してもらい、歩き方測定や歩き方指導を行いサポートをする。	・年度初めに登録者全員のウォーキング測定を行うとともに講習会を行った。講師の話・測定の結果を参考に一年間各自で目標達成に向けて取り組んでもらった。	・自分で取り組む、記録はスマホで管理している等の理由で会員数が減ってきている ・市民ニーズを把握し、事業の在り方を検討する必要がある	・ロコモ予防教室や、地域からの依頼事業等で情報を発信している	吹田市健康づくり推進事業団



健康すいた21（第3次）進捗確認シート(地域団体)

参考資料1

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度末までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
<b>分野4 眠る・癒す</b>													
115	4 眠る・癒す	1 自分に合った方法でこころの健康を保つ	(1) こころの健康を保つための取組の推進 工 全世代	各ライフステージに応じた、こころの健康を保つための知識の啓発	○	○	○	サロン活動等	地区福祉委員会が取り組むサロン等で、健康に関する講座や相談支援機関等の周知を行う。  いきいきサロン 549回 参加者：10,028名 福祉委員：3,475名  子育てサロン 356回 参加者：6,077名 福祉委員：2,558名	コロナ感染症が5類に移行し、制限が緩和され、コロナ禍前の状況まで今後は拡充していく見込み		吹田市社会福祉協議会	
115	4 眠る・癒す	1 自分に合った方法でこころの健康を保つ	(1) こころの健康を保つための取組の推進 工 全世代	各ライフステージに応じた、こころの健康を保つための知識の啓発		○	○	休養講演会	「質のよい眠り」や「笑いの効用」等、心の健康につながる講演会を開催している。  ・令和3年度は笑いの効用、令和4年度は積極的なリハビリについて講演会開催 ・令和5年度は大阪大学・江坂公園指定管理者と連携して子育てに関する内容を対談形式で開催	・令和5年度で廃止 ・今後は「健康まちづくり支援事業」の中で実施していく ・講師の話聞くだけでなく、自らも参画しながら心身の健康について専門家のアドバイスをもらいながら一緒に考える機会とする	・特に就労・子育て世代 ・公園等日常の活動の場所で、気軽に参加できる形式・内容を工夫をする ・広報については市報・ホームページだけでなく、会場となる場所に出向いて直接アプローチする	吹田市健康づくり推進事業団	
115	4 眠る・癒す	1 自分に合った方法でこころの健康を保つ	(2) こころの健康維持を支える日常的な取組の推進 工 全世代	楽しみにつながる趣味や地域活動、人とのふれあい、生きがいづくりにつながるような教室や交流会等、各世代の特性に応じ個々に合った場・機会の提供	○	○	○	学校体育施設開放事業	学校体育施設開放事業は、小中学校の体育施設を無償で開放し、地域住民の体育・スポーツへの参加を促進することにより、市民の体力づくり及び健康の増進を図る。 学校体育施設開放事業を利用して、各地区スポーツ教室やスポーツ交流会等三世代交流の場として活動している。	継続 利用団体、利用者の固定化が課題。		吹田市体育振興連絡協議会	
115	4 眠る・癒す	1 自分に合った方法でこころの健康を保つ	(2) こころの健康維持を支える日常的な取組の推進 工 全世代	地域における市民のつながりを生み出す取組	○	○	○	サロン活動等	地区福祉委員会が取り組むサロン等に参加することで、居場所づくりや仲間づくりのきっかけにさせていただく。  いきいきサロン 549回 参加者：10,028名 福祉委員：3,475名  子育てサロン 356回 参加者：6,077名 福祉委員：2,558名	コロナ感染症が5類に移行し、制限が緩和され、コロナ禍前の状況まで今後は拡充していく見込み		吹田市社会福祉協議会	
118	4 眠る・癒す	2 不調のサインに早期に気づき、対応する	(1) 相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	各ライフステージに応じた、こころの健康を保つための知識やこころの不調があるときの対処方法に関する啓発	○	○	○	サロン活動等	地区福祉委員会が取り組むサロン等で、健康に関する講座や相談支援機関等の周知を行う。  いきいきサロン 549回 参加者：10,028名 福祉委員：3,475名  子育てサロン 356回 参加者：6,077名 福祉委員：2,558名	コロナ感染症が5類に移行し、制限が緩和され、コロナ禍前の状況まで今後は拡充していく見込み		吹田市社会福祉協議会	
118	4 眠る・癒す	2 不調のサインに早期に気づき、対応する	(1) 相談支援の充実と普及啓発 工 全世代	生活に身近な場で専門性を生かした、様々な悩みに即した相談 必要に応じ行政機関と連携した支援	○	○	○	CSW（コミュニティソーシャルワーカー）	身近な福祉の相談員として、地域に出向いて相談ごとをお伺いします。関係機関等と連携して、相談支援します。  相談件数：336件 対応件数：のべ1,682回  大学、研究機関の「眠りの見守りプロジェクト」の被験者選定に協力し、高齢者の睡眠状況を3か月にわたり調査。研究機関が実態把握し分析。	相談支援は、今後も継続して取り組んでいく。		吹田市社会福祉協議会	

健康すいた21（第3次）進捗確認シート(地域団体)

参考資料1

第3次計画における位置づけ					ライフステージ			取組名	内容	令和5年度末までの取組	取組の課題や今後の方向性	重点ターゲットに対する工夫・アプローチ方法	団体名
ページ番号	分野	市民のめざす姿	取組の方向性	地域団体等の取組	次世代	就労世代	高齢世代						
<b>分野8 診てもらう</b>													
147	8 診てもらう	1 健（検）診を定期的に受診する	(1) 健（検）の実施	市内事業所向けの集団健診、個別健診、出張健診の実施		○		定期健康診断事業	産業医、提携医療機関をもたない中小事業者に対して、労働安全衛生法による健康診断義務を満たせるように、低廉な価格で健康診断機会を提供します。	集団検診及び個別検診を実施。広報はHP（常時）、会報誌に記事掲載及び折込チラシにて周知（各1回）。 R3年度 受診者78事業所805名 R4年度 受診者84事業所1,113名 R5年度 受診者85事業所1,402名	継続	—	吹田商工会議所
151	8 診てもらう	3 生活習慣病等の重症化予防のために定期受診や自己管理ができる	(1) 重症化予防のための支援	お薬手帳を活用した血糖値管理の支援や薬に関する出前講座		○	○	お薬手帳への記録用スタンプの会員薬局への配布	糖尿病患者の血糖値、HbA1c値のお薬手帳への記入を行います。	お薬手帳に貼る骨シールを会員薬局に配布	継続	—	吹田市薬剤師会
151	8 診てもらう	3 生活習慣病等の重症化予防のために定期受診や自己管理ができる	(1) 重症化予防のための支援	お薬手帳を活用した血糖値管理の支援や薬に関する出前講座			○	出前講座	「高齢者と薬」「お薬手帳」等のテーマで、公民館やいきいきサロン等で実施します。	令和5年度はお薬出前講座を3回開催し、38名の参加があった。（12月にヘルパーステーションでヘルパー向け講座1回、2月に地区公民館で、漢方薬との付き合い方他1回、ちょっと気になる薬の話1回）			吹田市薬剤師会
							○	健都ライブラリー講座	健都ライブラリーで予防医療をテーマに講演会等を毎月開催します。	健都ライブラリー講座は、薬にとどまらず薬膳、熱中症対策、ハンドクリーム作り等様々なテーマで11回開催。平均20名～30名程度の参加があった。健都ライブラリー講座（4月おうちでかんたん薬膳参加者17人、5月今から始める熱中症対策参加者15人、6月夏に多い感染症とその予防法参加者15人、7月こんなところに薬剤師参加者22人、9月健康診断の検査値のみかたと自分にできる対処法参加者15人、10月口腔ケアによる疾病予防について参加者、11月特定保健用食品・機能性表示食品の理解と正しい利用法参加者28人、12月糖尿病と薬について参加者15人、1月かんたんハンドクリームづくり参加者30人、2月便秘にきく漢方参加者16人、3月ニキビとスキンケア参加者18人	継続	—	吹田市薬剤師会